

通 告 質 問 一 覧 表

(平成18年12月定例市議会)

順 位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
1	8	1 番 小 林 重 樹	<p>1 特別支援の必要な児童・生徒の教育支援について</p> <p>(1) LD (学習障害者) ADHD (注意欠陥多動性障害者) の児童・生徒の数が全体の児童・生徒の減少とは反比例し、全国的に増加の傾向にあり、小・中学校における特別な教育支援を必要としている児童・生徒が約 6%程度の割合で在籍している可能性が示されています。こうした状況を踏まえ、当市ではどのような施策をとっているのか。また、今後の対策はどのような施策があるのか尋ねたい</p> <p>2 官民協働のPFI (プライベート・ファイナンス・イニシアティブ) の導入について</p> <p>(1) 国の三位一体改革政策により、地方自治体への税源移譲が来年度より本格化します。それに伴い、地方自治体の会計予算が圧迫される中、民間の資金やノウハウを生かして社会資本を整備するPFIを研究、導入する自治体がふえているが、当市において、PFIの研究、導入等の取り組みはあるのか</p> <p>3 過疎市町に広がるデマンド交通について</p> <p>(1) 過疎の進む市、町で車の運転ができない高齢者らの新たな移動手段として、最近注目されているのがデマンド交通システムである。当市においては、市民バスの導入を研究、検討しているが、経費の比較的かからないデマンドタクシーを検討してはどうか</p>
2	10	16 番 三 上 孝 子	<p>1 教育問題について</p> <p>(1) “安心” は子どもたちの権利です - いじめの実態と、なくしていくための対応について問う -</p> <p>2 高齢者、障害者福祉について</p> <p>(1) おしよせる負担増。軽減策を求める</p> <p>(2) 障害者控除認定書の発行手続きについて</p> <p>3 多重債務問題について</p> <p>(1) 相談窓口、相談員の強化と生活再建をめざすまでの対応の体制を</p> <p>4 雇用問題について</p> <p>(1) 安定した雇用確立のための施策を求める</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
3	6	11 番 長 江 和 幸	<p>1 いじめ問題について</p> <p>(1) 管内での小・中学生の発生件数を伺う</p> <p>(2) 文部科学省・県教育委員会からの取組通知は各学校へ通達されていると思うが、当教育委員会独自の対処マニュアルはあるか伺う</p> <p>(3) 子どもたちのいじめ、自殺を教育長はどのようにとらえているか。教育長の所信を伺う</p> <p>(4) 子どもたちに命の大切さをうたっていた校長が責任をとって自殺（自ら死を選んだ）した事については、どのような意見があるかお尋ねします</p> <p>2 ノーテレビデーを設けては？</p> <p>(1) 「高梁市わくわく読書まつり 2006」が 11 月 11 日に有漢町で開かれ、絵本作家による読み聞かせで子どもらが目を輝かせていたと新聞の記事に載っていました。テレビで育っている今の子どもたちに、絵本から活字離れを防ぐことは素晴らしい事と思います。私は週 1 日だけでもテレビを見ない日を決めることにより、家庭での親子の読み聞かせができる（ふえる）と考えています。また、親と子の対話がふえることにより心のサインを見抜けると思う。がまんすることも学べると思うが、当局の考えを伺う</p>
4	2	22 番 妹 尾 直 言	<p>1 外部監査委員の登用について</p> <p>(1) 市長は就任当初、外部監査委員の登用を言っておられましたが？どうなっているのか</p> <p>(2) 高梁市の財政状態が非常に悪化している中で、内部だけでの行財政改革チームだけで本当の行財政改革ができるのか？</p> <p>(3) 行政内部からの身を切る改革なくして、押しなべての単なる事業費の 5%カットだけの数字合わせでは真の改革は望めません</p> <p>(4) 市長は先頭に立って改革をする気があるのか？真意と覚悟のほどをお伺いします</p> <p>2 協働による市政づくりについて</p> <p>(1) 市長の提唱されている「協働による市政づくり」とはどのようなものかお伺いします</p> <p>(2) 協働による市政づくりというのは単に市民に行政の手伝いをさせるだけのものなのか？</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
4	2	22 番 妹 尾 直 言	<p>(3) 市道等の維持管理（草刈など）において不慮の事故だけがをしても何の保障もされていないことなど、市の職員は職務中の事故など、手厚い補償がされているのに片手落ちではないのか</p> <p>3 高梁市職員の勤務状況について</p> <p>(1) 現在、マスコミ等の報道により全国各自治体で問題になっている職員の勤務状態（5年間で8日しか出勤しなくても給料が支払われているとか）の問題は、高梁市においては無いと思うが実態はどうなっているのか</p> <p>(2) 対岸の火事とばかりに考え、他人事のように漫然とされているのではないか？また、調査されたのかお伺いします</p>
5	5	25 番 井 上 英 男	<p>1 新高梁市の2ヶ年を振り返って</p> <p>(1) 行政執行2年間の成果と反省点について</p> <p>(2) まちづくり計画、総合計画の進捗状況について</p> <p>2 平成19年度の基本姿勢について</p> <p>(1) 平成19年度当初予算の基本的な考え方について</p> <p>(2) 行財政改革について</p>
6	7	5 番 玉 田 敏 明	<p>1 「いじめ」問題について</p> <p>(1) 学校現場における対処法について</p> <p>2 防犯ステッカーについて</p> <p>(1) 6月議会での市長答弁に「積極的に取り組ませていただきたい」とあるが、その後どうなっているのか？</p> <p>3 市の広報紙について</p> <p>(1) 「広報たかはし」に市内企業の広告を掲載する考えはないか？</p>
7	9	4 番 田 島 肇	<p>1 公共の場所における自転車等の放置防止について</p> <p>(1) 本市は吉備国際大学もあり、学生の住む町ということから自転車等の利用も多く、特に市街地においては盗難等の発生状況も踏まえ、現在市としての対応はどのようになされているのか</p> <p>(2) 市民の快適な生活環境を維持し、安全・安心なまちづくりのために、警察、鉄道事業者、その他関係団体にもその主旨を理解いただき、自転車等放置防止条例を策定すべきである</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
8	1	3 番 植 田 二 郎	<p>1 行政の骨格について</p> <p>(1) 地方分権下における地方行政のあり方について</p> <p>2 平成 19 年度予算編成について</p> <p>(1) 基本理念と重点項目</p> <p>3 プールの消毒剤について</p> <p>(1) 無機・有機塩素の性質と選択について</p>
9	4	15 番 宮 田 公 人	<p>1 平成 19 年度予算編成方針について</p> <p>(1) 厳しい財政状況の中、どのような方針で予算編成に臨むのか</p> <p>(2) 基礎資料としての財政シミュレーションの再計算が必要なのではないか</p> <p>(3) 新型地方交付税制度への移行にともなう本市への影響はどの程度のものと予測するのか</p> <p>2 行財政改革について</p> <p>(1) 次年度予算編成が迫る中、いつ具体的な方向性を提示できるのか</p> <p>(2) 「決算における主要な施策の成果に関する説明書」について行政評価という視点から改善を求める提言をしたが、現状についての報告を求める</p> <p>3 成羽病院のありかたについて</p> <p>(1) 建設計画見直し案はいつ再提出されるのか</p> <p>(2) 医業収支と事業収支の乖離著しいこれまでの経営経過について</p> <p>(3) 自治体病院は全国的に大幅な改革を迫られる時期にあるが、本市も例外なくその方向性を示さなくてはならないと考える。すでに川上診療所においては指定管理者制度が導入され、出向職員は自身の身分選択を迫られる状況にあるが、今後、成羽病院の経営形態のありかたについて市長の見解を求める</p> <p>4 住友電工焼結合金（株）用地造成について</p> <p>(1) 造成工事が完成間近となる中、未だ大まかな増設改革・採用計画さえ議会に報告がない。具体的資料の提出を求める</p>

順位		通 告 者	項 目 及 び 要 旨
発言	受付		
10	11	18番 三 谷 實	<p>1 行財政改革と今後の財政運営について</p> <p>(1) 合併協議の申し合わせ事項と行財政改革、財政運営にどう対処していくのか</p> <p>(2) 平成 18 年度決算見込みでの財政指数、特に実質公債費比率はどう推移するのか</p> <p>(3) 平成 19 年度予算編成にはどう取り組んでいくのか</p> <p>(4) 厳しくなる一方の財政状況が想定されるが、成羽病院改築は聖域として推進していくのか</p> <p>2 市長の政治姿勢を問う</p> <p>(1) 悪化する財政事情の中、今後の秋岡市長の市政に対するかじ取りを問う</p>
11	3	12番 川 上 博 司	<p>1 小・中学校におけるいじめ問題について</p> <p>(1) 本市におけるいじめの実態をどう捉えておられますか。そのための日常的な子どもへのアンケート調査はどのように行われていますか</p> <p>(2) 本来、100%子どもと向き合うべき教師が雑務に追われ、専念できないという問題も指摘されています。学校、地域、家庭が連携しての教師のバックアップ体制が必要と考えますが、認識を伺いたい</p> <p>(3) 心の教室相談員、臨床心理士による相談活動や相談窓口の設置についてお伺いいたします</p> <p>(4) 一連の学校の不祥事を受け、教育委員会への批判と改革論議が高まっています。本市の教育委員会に照らし、教育長の認識を伺いたい</p> <p>2 ひとり暮らしの高齢者などのちょっとした困りごとやニーズに対応する支援サービスについて</p> <p>(1) ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障害者のみの世帯を対象に地域で安心して自立した生活を支援することを目的として、日常生活で困っているちょっとしたことで地域住民の協力を得て解決のお手伝いができるサービスを実施していくべきではないか</p> <p>3 出産育児一時金の支給方法に関する改善策について</p> <p>(1) 国保被保険者の出産時の家計負担を軽くするため、出産一時金について「受領委任払い制度」を導入すること</p> <p>4 高梁市の文化芸術振興基本条例をつくるべきではないか</p> <p>(1) 国の文化芸術振興基本法を受けて岡山県は文化振興基本条例を策定し本年 4 月に施行しております。本市でも早急に文化芸術振興基本条例を策定すべきである</p>

